

—学校教育自己診断結果を受けて—

【学習指導面】・「思考力を育てる深い学び」の実現に向け、指導教諭を中心に授業改善に取り組んだ。【生徒】「授業に満足」83%と数値が高い一方で【保護者】「子どもは授業が分かりやすいと言っている」76%と、1,2年生を中心に低い。1,2年の学習意欲を維持させることが必要である。土曜日午前中の学習タイムは、「学習時間として活用している」【生徒】が59%となっており、土曜日の学習活動状況を一層改善したい。

#### 【生徒指導面】

「あいさつやマナーを守る指導、モラルを守る指導をしている」【生徒】78%【保護者】83%「将来の進路や職業などについて適切な指導をしている」【生徒】93%【保護者】91%と、本校の生活指導、進路指導については高い評価がある。一方で「困ったときに保健室や相談室で気軽に相談できる」【生徒】63%（特に1,2年が50%台）、「相談しやすい体制をとっている」【保護者】80%と相談体制に関する項目が低い。相談室利用を気軽にできる方策を検討する必要がある。

#### 【発信・広報】

【生徒】「メールやホームページ、ブログで情報が発信されている」91.4%【保護者】「教育活動をわかりやすく伝えている」93.7%と、休校期間も含めて本校の様子を伝えようと発信をしたことに対して高い評価をいただいた。今後も発信を続けていく。

#### 【学校生活全般】

【生徒】「岸高に入学して満足している」89.3%【保護者】「子どもが岸高に入学して、満足した高校生活を送っている」91.6%と言う結果であり、いずれも3年生の結果が最も高い。

【生徒】「学校に行くのが楽しい」85.5%【保護者】「子どもは学校に行くのが楽しいと言っている」87.7%と評価をいただいた。

コロナ禍を受けての教育活動であったが、生徒の協力、保護者の皆さまのご支援があったからこそその評価と受け止める。次年度は行事の内容を精選、工夫して生徒が安心して、一層楽しく学校生活を送れるように取り組んでいく。